

舌肥ゆる春です！ お好み焼き を焼きました (3月24日、6丁目にて)



▲フットワーク軽く、栄養士がサービス

千昌夫が歌う「北国の春」にある、「季節は都会では分からないだろうと届いたお袋の小さな包み」という一節について、先月、青葉台うたうサークルより紹介がありました。貴方にとって春を告げるものは何ですか？

イン・ドアで季節を感じられるものといえ、やはり「食」でしょうか。四季の中で、食欲や食の嗜好、腹時計の鳴る時刻などが微妙に変化することでしょう。ご入居者の方々から、お好み焼き・たこ焼きを食いたいとお声をよく頂戴します。ご面会のご家族よりそれらを差し入れていただいているところを拝見することも多く、寿司などと並ぶ人気メニューのひとつです。



▲目の前で焼いたものを、アツアツで

▼ソースやトッピングはお好みでどうぞ



▲皆で楽しく鉄板を囲み「いただきます！」

▼「おかわり！」…胃袋も本日は無礼講

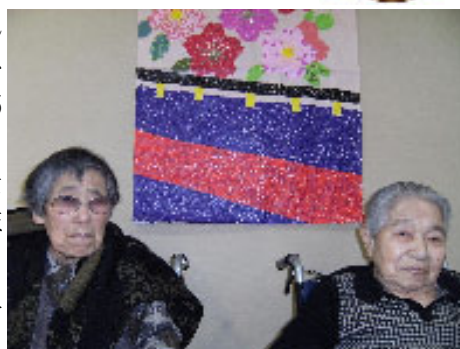
また、ユニット・ケアでは、目の前で調理すること等を重要視していますが、時間や人員の弊害があってなかなかできず、今回のような試みは貴重なひと時です。「また食いたい」とアンコールも多く、もっとこんな企画を増やしたいと思えます。ご家族からもリクエストを頂戴し、積極的にご参加いただいて、うおずみを盛り上げていこうではありませんか。お好み焼きは「お袋の小さな包み」に近づけましたか？うおずみ近くの並木道には、つい最近までコブシが咲き誇っていました。



各ユニットで お誕生会 を開催しています



うおずみ開設以来2年余が経過し、7つのユニットに各々カラーがスタートした昨今。それぞれのバースデーを祝うのにも、各ユニットの個性があります。今号で掲載したのは、5丁目での3月誕生会。右のお二人をお祝いしました。昭和生まれの方が、続々と80歳を超えていくこの時代。当施設の中で最も多い大正生まれの方は、当然90歳、100歳へ近づいていきます。お元気なまま100歳へ向かって下さいとスタッフの願いを込めて、この日はショートケーキを振る舞いました。舶来文化が乏しかったこの国で、敗戦の辛抱を貫いてご高齢となった方に喜んでいただけると、こちらも幸せな気分になれます。誕生日というのは嬉しくも、尊いイベントですね。ただ、ケーキ喫食中の写真を取り損ねました…陳謝。



▲ユニットで製作したちぎり絵をバックに、3月生まれのお二人(3月25日、5丁目)

特養うおずみ
入所待機状況

毎年度末に行う、入所意志確認調査(待機者の方に、入所申込の継続をされるか確認させていただく文書を送付し、ご返事を頂戴しています)について、報告申し上げます。

- 入所申込継続意志確認書送付 (申込後半年未満の方は除外) 138名
- 同確認書 回収 94名 (うち17名は取下げ)、未回収 44名 (→取下げ扱い) <回収率 68.1%>

※ 待機者計 111名 <平均要介護度 3.09> ← 調査前は166名

(平成22年3月末現在。確認作業中の申込者を含む。昨年度末の122名より11名減)

◇ 入所のご相談・施設見学等随時(日・祝日除く)受け付けております。お気軽にご連絡下さい。



4月	12日(月)	13日(火)	14日(水)	15日(木)	16日(金)	17日(土)	18日(日)
昼食	豆ご飯、鯛の桜蒸し	ドライカレー、クリームコロッケ	ちりめん山椒ご飯、鱈の西京焼	鶏つくねの照り焼き	和布ご飯、長崎ちゃんぽん風	豚肉の柳川風煮	鮭のマヨネーズ焼き
夕食	一銭焼き風卵焼き	鱈の煮付け、大豆磯煮	肉豆腐、出し巻き明石風	鱈の塩焼き、塩昆布和え	炒り鶏、空豆の卵とじ	白身魚のおろし煮	豚肉のオイスターソース炒め
	19日(月)	20日(火)	21日(水)	22日(木)	23日(金)	24日(土)	25日(日)
昼食	酢鶏、かに玉風スクランブル	発芽玄米入りご飯	春の天ぷら盛り合わせ	ゆかりご飯、焼きそば	鰯のムニエル	青椒肉絲、切干大根	鱈の有馬煮、五目豆
夕食	赤魚のわかめ蒸し	牛肉と野菜の煮物	スパニッシュオムレツ	鱈の味噌煮、炒り豆腐	棒々鶏、ミニおでん	白身魚のピカタ	豚肉のパン粉焼き

《File 21》 看護師 酒井 千加子

【フリートーク】 3月16日より医務室で勤務しております。酒井千加子です。こちらには「入所の順番待ち」のため(!?)、入職しました。その時は介護よろしくお願ひします(^-^)

家にはマルチーズの”ララ“(5才の女の子)がいますが、いまだ私が声をかけると震えます(≥≤)

家人と長渕剛をこよなく愛する私ですが、どうぞよろしくお願ひします。



大久保病院より異動しました

スタッフ数珠つなぎ

うおずみ 春夏秋冬 ニュース & インフォメーション

● 経管栄養を受けておられる方の受け入れについて

従前医師らにしか認められていなかった経管栄養の注入やたんの吸引行為を介護職員が行うことについて、厚生労働省は、一定の条件下で認めることを検討すると発表しました(3月26日・朝日新聞参照)。

特養では夜間に看護師が配置されておらず、吸引等の対応ができないために、経管栄養を受けておられる方にご入所していただくことが困難な状況で、その受け入れを可能にすることが大きな課題のひとつでした。

当施設への入所待機者にもそのような方が多数おられます。これで門戸が拡大したといえますが、ただ、今すぐにといい訳にもいきません。事故・急変等を予防すべく、スタッフの知識・技術の向上を図ったり、新たなマニュアルづくりをするといった、受け入れ体制の構築が早急に求められます。我々のレベルアップが多くの方の一助になれば、この上ない幸福です。あとしばらくお時間を頂戴することになりますが、ご容赦下さい。

● うおずみスタッフ、資格試験に合格しました!

介護福祉士(地原愛)、介護支援専門員(片山雄司)
おめでとうございます! 見かけたら祝福してやって下さいね。



☆ 今後の予定 ☆

- 4月21日(水)《音楽療法》林先生 14:00～(デイサービス)
- 4月21日(水)《日本理美容福祉協会》訪問理美容サービス
- 5月10日(月)《青葉台うたうサークル&グリークラブ》13:30～(地)

● 不定期来訪

- ・小笠原尚子氏 : 歌のコンサート(主にデイサービスか3丁目)
- ・ふれあい介護相談員 : デイ、各ユニットをまわってコミュニケーション



▲体をいっぱい使って歌います(音楽療法)

編集

ピカピカ黒塗りの新車を手に入れて、ご満悦の我がN口。でも、そこには先代相棒との辛い別れがあったはず。家族やΣ√∩△との思い出がいっぱい詰まったマイカーを見送る時、人知れず涙したと察します。皆様にも、卒業や転勤・転職、そして失恋のとき、また入学や就職の際の、様々な思い出があるでしょう。別れの後には出会いがあります。これからどんな友や先生に巡り会うのでしょうか。ワクワク、ワクワク。青春を彩っていく素晴らしい出会いと別れ。別れることは辛いけど「仕方ないんだ君のため。別れに星影のワルツを歌おう」春です。我々は、皆様に良い出会いを提供していきたいと思ひます。



後記



▲晴天の弥生に、ひな飾りの前でパチリ